

トヨタ純正 オートアラーム

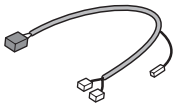
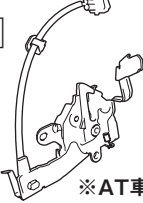
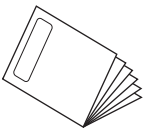
取付要領書

本書はオートアラームの取り付け要領について記載してあります。取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。別冊の「取扱書」は、必ずお客様にお渡しください。

品 番

品 番	オートアラームセット	08625 - 12080
-----	------------	---------------

構成部品

		No.	品 名	品 番	個数
	1	1	セルフパワーサイレン	0862A - 00010	1
	2	2	両面テープ (60×50)		1
	3	3	ハーネス	—————	1
	4	4	フードロック ASSY	53510 - 12C20	1
	5	5	クランプ	—————	5
	6	6	取扱書	—————	1
	7	7	取付要領書	—————	1
	8	8 (注)	セキュリティラベル	08586 - 00060	2
	9	9	フードロックナットキャップ	53579 - 50010	1

※AT車は使用しません

※AT車は使用しません

(注) セキュリティラベルはお客様に貼っていただくため、必ずお客様にお渡しください。
貼付位置については、取扱書を参照してください。

取り付け上の注意事項

この取付要領書では安全な作業をしていただく為、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています

- ⚠ **注意** ……注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがあることを記載しています
 📢 **アドバイス** ……スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています

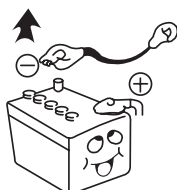
⚠ 注意

バッテリー接続中に作業を行う場合は、エアバッグセンサー等に衝撃を与えないよう充分注意してください。

- (1) 車両を水平な場所に停車してパーキングブレーキを引き、輪留めを確実に行ってください。
- (2) 下回り作業中は、安全に配慮し、エンジン始動及び乗車は絶対しないでください。
- (3) 通常のキーによるエンジン始動・停止、電気式ドアロックが正常に作動する事を確認してください。
- (4) 車両部品の取りはずしに際しては、タッピング・スクリューやボルト、ナット類を紛失しないよう部品毎に整理し、復元作業時に間違いのないよう配慮してください。また、車両および取りはずした部品に傷を付けないよう取り扱いには充分注意してください。
- (5) バッテリー復元作業終了後、車両機能部品に初期化が必要な部品がありますので、作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。

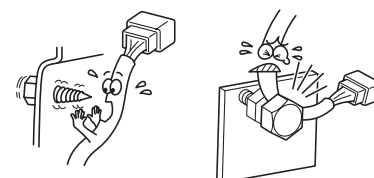
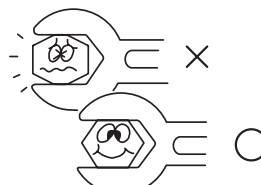
取り付けの前に

- バッテリーの(－)側ケーブルをはずす



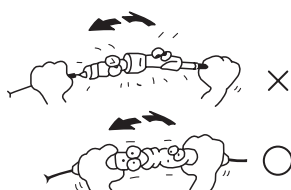
部品の取り付けは

- 寸法にあった工具を使う
- 裏側に注意し、ハーネス噛み込みに注意する



配線は

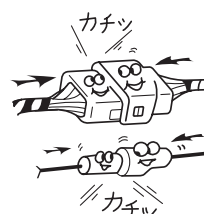
- コネクタは本体を持てはらず



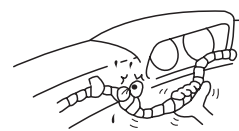
- 車両ハーネスとまとめたり、クランプを使用して固定する



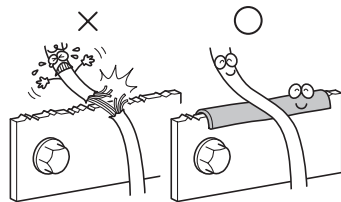
- コネクタは確実に接続する



- 無理に引っ張らない



- バリ・エッジ部は保護シート等で保護する

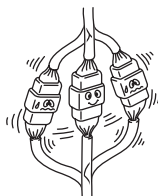


- 車両部品が確実に復元できるようハーネスを処理する



クランプは

- クランプは締め過ぎない
- 余った部分をカットする
- カットした末端が他のハーネスと接触しないように注意する
- コネクタを異音がないようにクランプする



取り付け完了後は

- 取りはずした車両部品は確実に復元する



取り付けに必要な工具等

- ・一般工具、各種リムーバー、ニッパー、ヤスリ、ビニールテープ、保護テープ、保護メガネ、ウエス、精密ドライバー ㊦、脱脂剤等、トルクレンチ、トヨタエレクトリカルテスター、GTS+
- ・参照マニュアル・・・修理書、配線図集等

始業点検

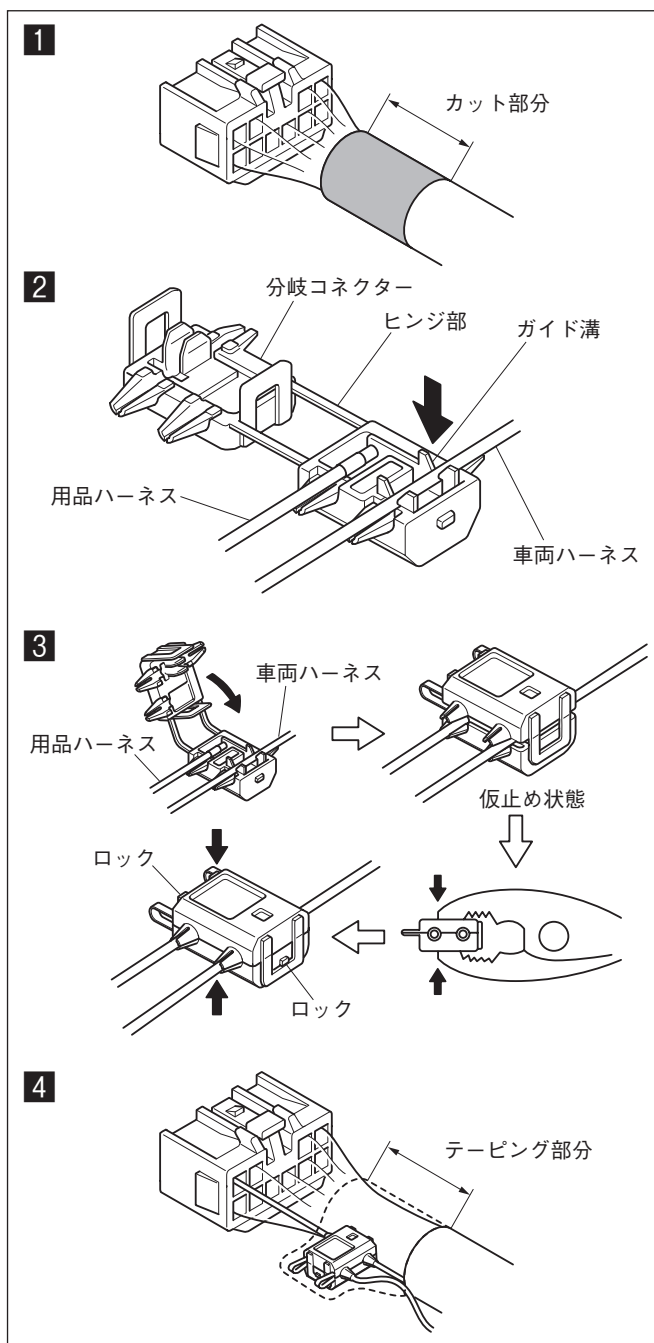
ドアロック・パワーウインド・ハザード等、電気系統の作動確認を実施してください。

分岐コネクターの接続方法

分岐コネクター使用上の注意事項

- (1) 車両のビニールチューブ等をカットする際は、車両ハーネスを傷付けないよう充分注意してください。
- (2) 分岐コネクターは、他の用品が装着されている場合でも必ず、車両ハーネスに接続してください。
- (3) 分岐コネクター接続時に、クリック音と合わせてロック（2箇所）が確実に嵌合した事を確認してください。
- (4) 接続するコネクターの端子番号及び、用品ハーネスと車両ハーネスの線色を確認し、誤った接続をしないよう充分注意してください。
- (5) 同一コネクターに複数の分岐コネクターを接続する場合は、接続位置をずらしてください。
- (6) ヒンジ部が破損しても確実にロック（2箇所）できれば性能上問題ありません。
- (7) 一度使用した分岐コネクターは再使用しないでください。誤って接続した場合、分岐コネクターを車両ハーネスに付けたまま用品ハーネスを切断し、ビニールテープで絶縁処理してください。

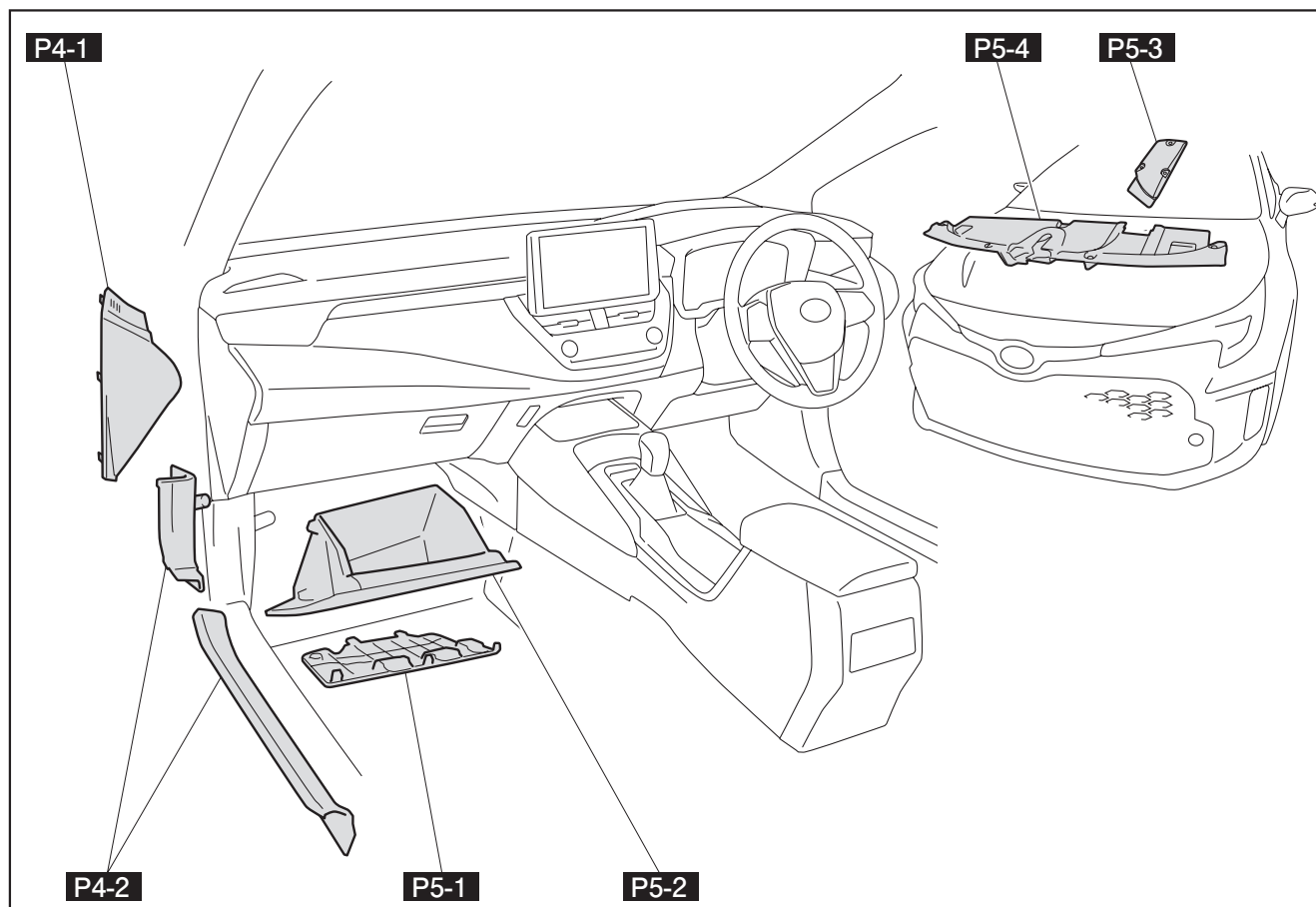
分岐コネクターの接続手順



- 1** 接続する車両ハーネスがビニールチューブ、ビニールテープ及びコルゲートチューブで覆われている場合は、適量をカットしてください。
- 2** 接続する車両ハーネスを確実にガイド溝へ挿入してください。
- 3** 車両ハーネスをガイド溝に収めた後、分岐コネクターを折り返し、仮止め状態を作りプライヤー等の工具を使用して左右のロックがかかるまで確実に挟み込んでください。（クリック音を確認）
- 4** 分岐コネクターの異音防止のため、ビニールテープを巻いて処理してください。

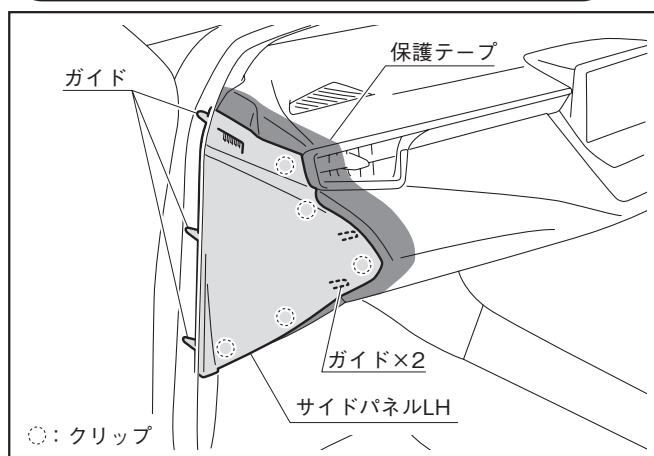
車両部品の取りはずし

詳細は修理書を参照してください。



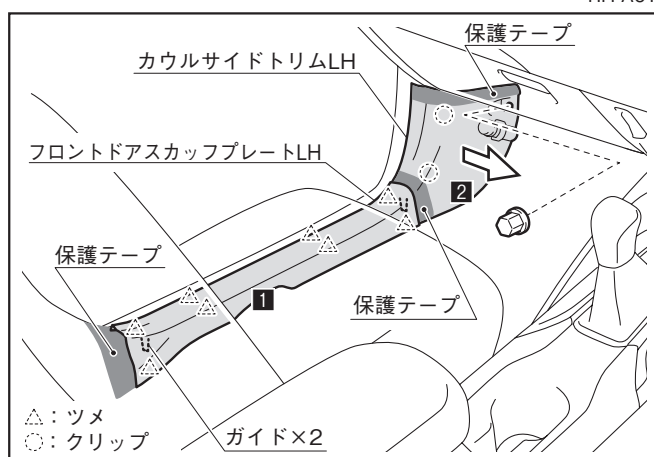
TIH-001

車両部品の取りはずし要領



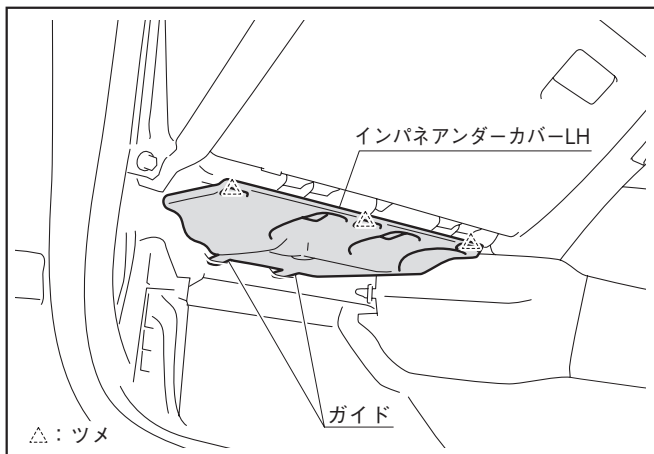
TIH-A01

- P4-1**
- (1) 保護テープを貼り付ける。
 - (2) クリップ (5箇所) の嵌合をはずし、サイドパネル LH を取りはずす。



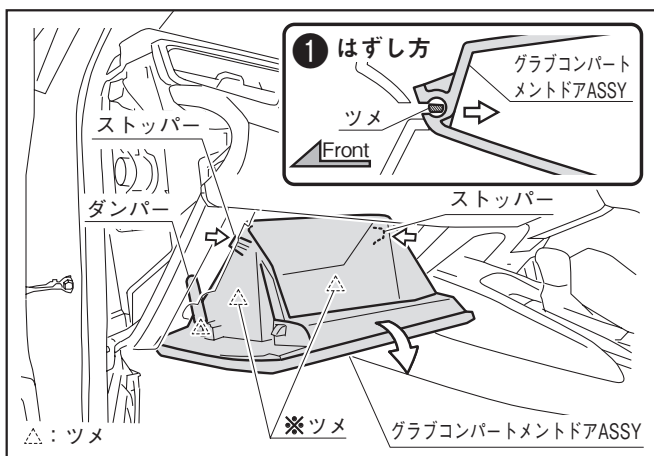
TIH-A02

- P4-2**
- (1) 保護テープを貼り付ける。
 - (2) ツメ (8箇所) の嵌合をはずし、フロントドアスカッフプレート LH を取りはずす。
 - (3) 樹脂ナットをはずす。
 - (4) クリップ (2箇所) の嵌合を矢印方向にはずし、カウルサイドトリム LH を取りはずす。



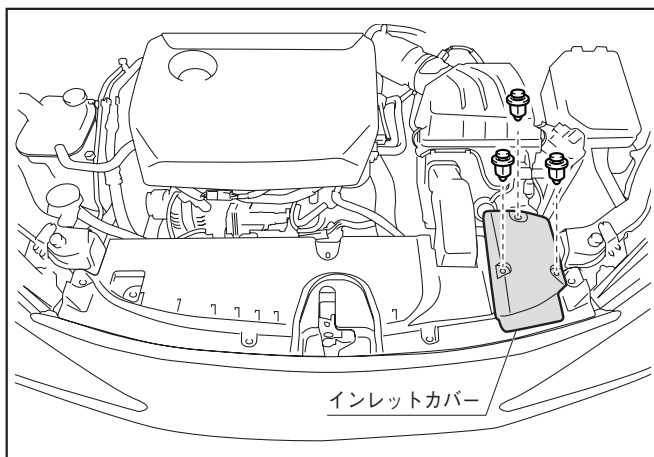
TIH-A03

- P5-1** (1) ツメ (3箇所) の嵌合をはずし、インパネアンダーカバー LH を取りはずす。



TIH-A04

- P5-2** (1) ダンパー用ツメ (1箇所) の嵌合をはずす。
 (2) ストッパー (2箇所) をはずし、グラブコンパートメントドア ASSY を水平状態に傾ける。
 (3) ①に従い、※ツメ (2箇所) を矢印方向にはずし、グラブコンパートメントドア ASSY を取りはずす。



TIH-A06

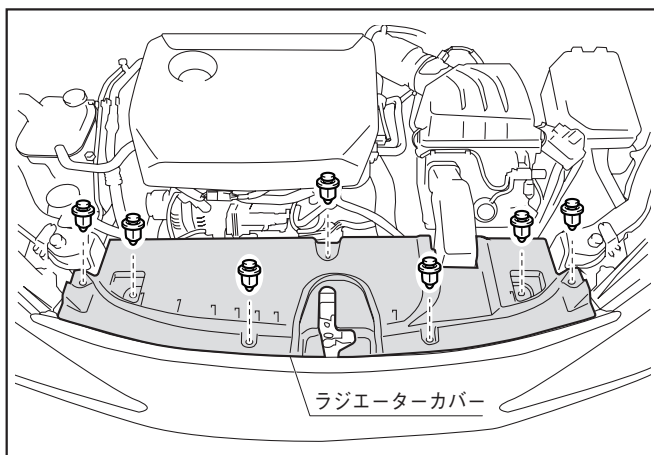
P5-3 <MT車のみ>

- (1) 樹脂クリップ (3個) をはずし、インレットカバーを取りはずす。

AT 車はフードロック ASSY の交換が不要の為、MT 車のみインレットカバーの取りはずしを実施してください。

アドバイス

年式によって、インレットカバーがない場合がございます。



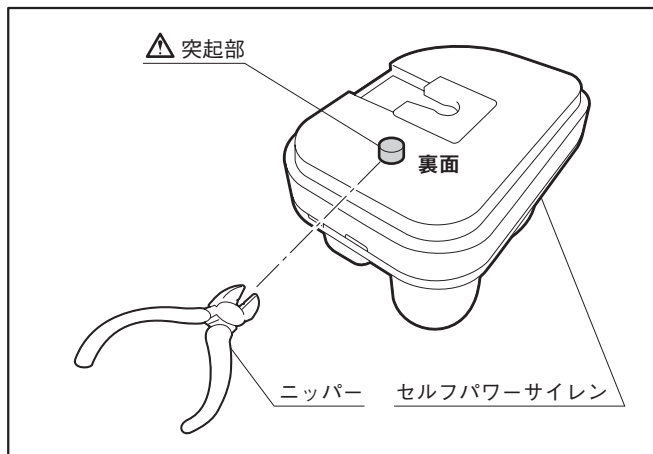
TIH-A05

P5-4 <MT車のみ>

- (1) 樹脂クリップ (7個) をはずし、ラジエーターカバーを取りはずす。

AT 車はフードロック ASSY の交換が不要の為、MT 車のみラジエーターカバーの取りはずしを実施してください。

作業前準備



TIH-B01

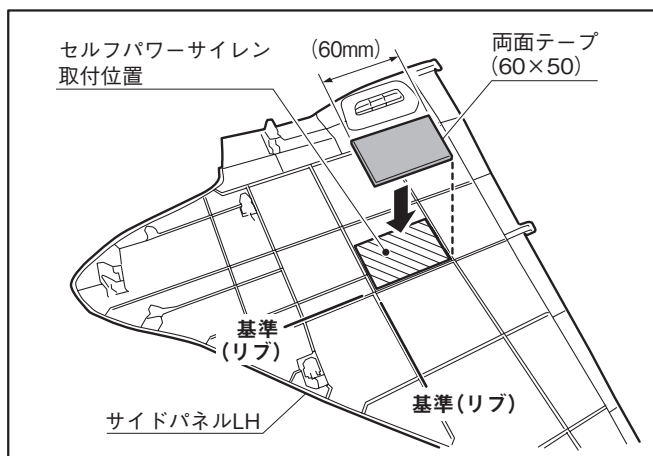
P6-1 セルフパワーサイレン

- (1) セルフパワーサイレン裏面の突起部をニッパー等で切断する。

⚠ 注意

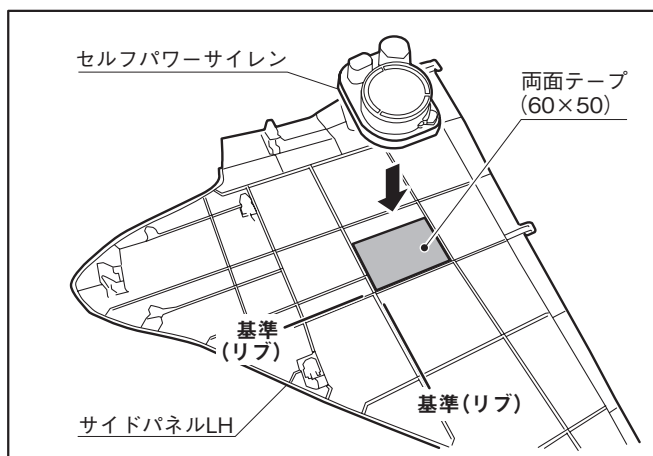
突起部を切断する際は、必ず保護メガネを着用してください。

- (2) バリ・エッジをヤスリで取り除く。



TIH-B02

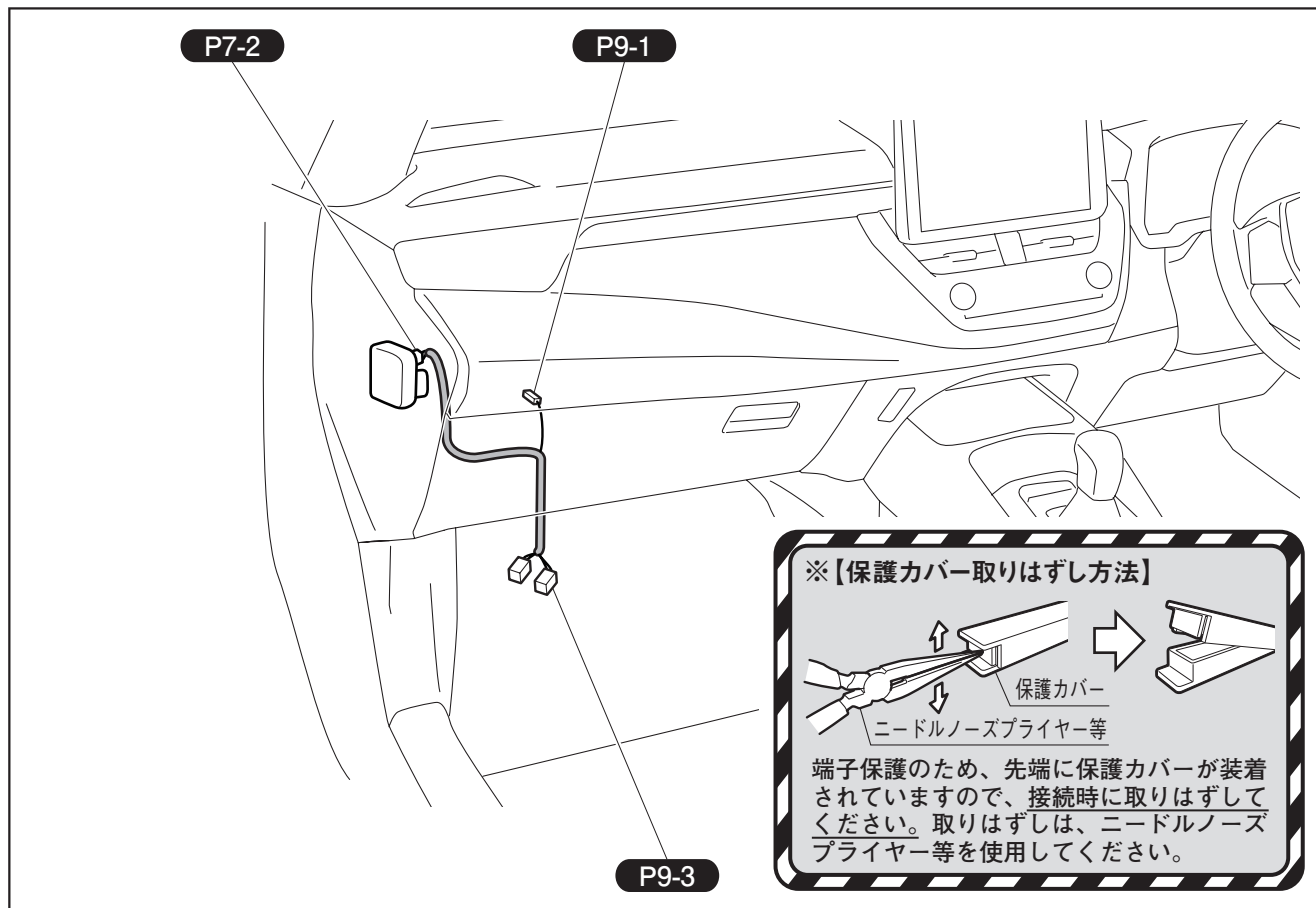
- (1) セルフパワーサイレン取付位置（斜線部）を脱脂剤等で洗浄する。
- (2) 両面テープ（60 × 50）をサイドパネル LH に貼り付ける。



TIH-B03

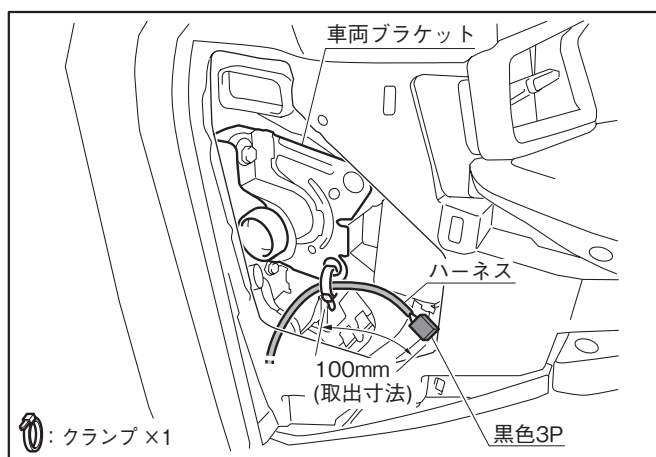
- (1) セルフパワーサイレンを脱脂剤等で洗浄し、サイドパネル LH に取り付ける。

配線概要



TIH-002

ハーネスの配線

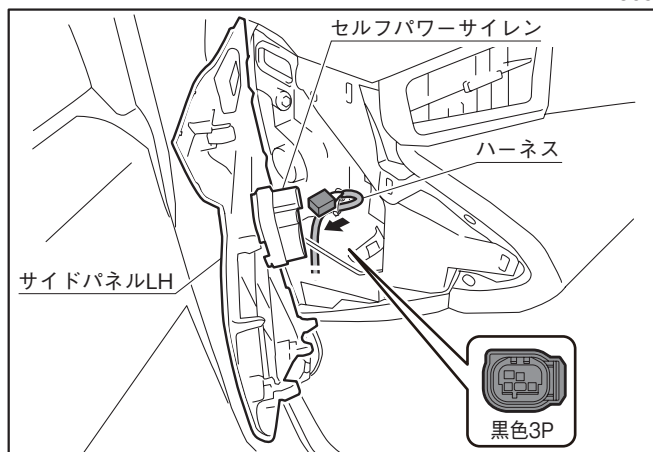


TIH-C03

ハーネスの配線

P7-1 黒色 3P コネクターの配線

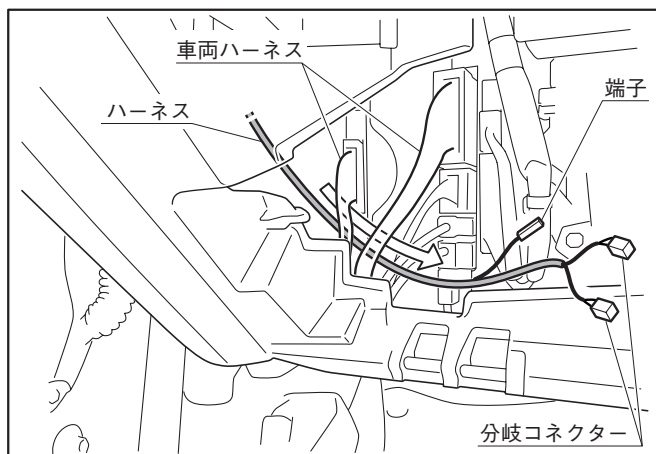
- (1) ハーネスを車両ブラケットに固定する。



TIH-C05

P7-2

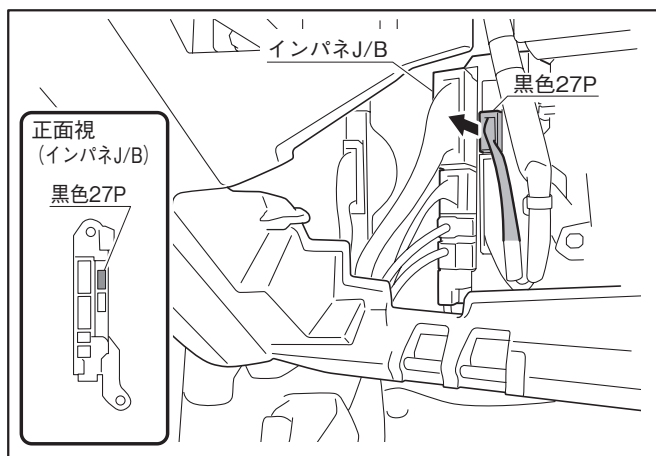
- (1) ハーネスの黒色 3P コネクターをセルフパワーサイレンに接続する。
- (2) サイドパネル LH を復元する。



TIH-C06

P8-1

- (1) ハーネスを車両ハーネスの前方に通す。

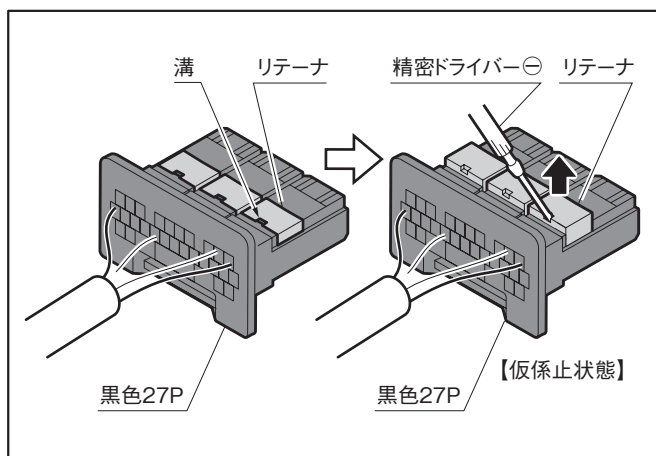


TIH-C07

P8-2

インパネ J/B の配線

- (1) インパネ J/B の黒色 27P コネクターを取りはずす。



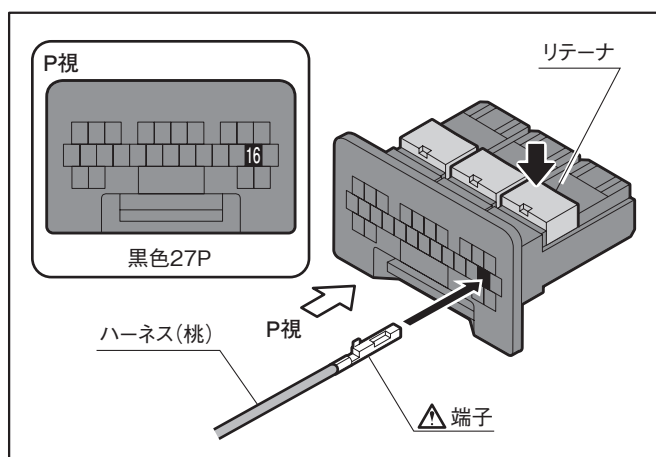
TIH-C08

P8-3

- (1) 精密ドライバー⊖を黒色 27P コネクターの溝に挿し込み、リテーナを仮係止位置まで戻す。
- (2) リテーナのロックが仮係止状態であることを確認し、以降の作業を行う。

⚠ 注意

誤ってリテーナ及びコネクターを破損した場合は新品に交換してください。



TIH-C09

P9-1

- (1) 端子の保護カバーを取りはずす。
- (2) 黒色 27P コネクタの 16 番にハーネスの端子 (桃コード) を挿入し、リテーナを確実にロックする。

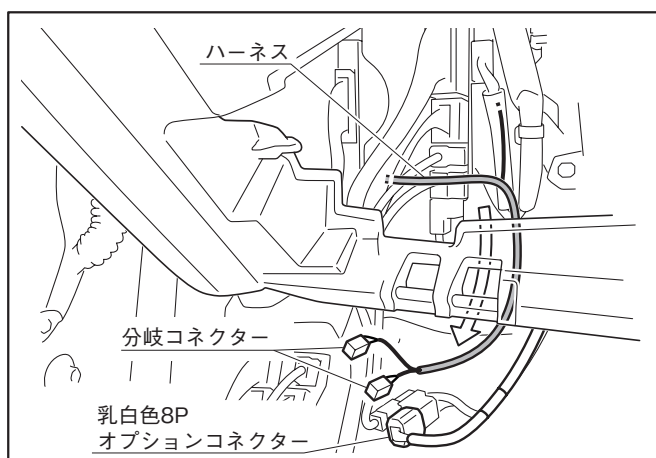
⚠ 注意

車両が損傷する為、端子番号を確認し、誤った場所に端子を挿入しないよう充分注意してください。

👉 アドバイス

誤った位置に端子を挿入した場合は、SST【品番：09992-01030】を使用し、正しい位置に挿入し直してください。

- (3) 黒色 27P コネクタを復元する。

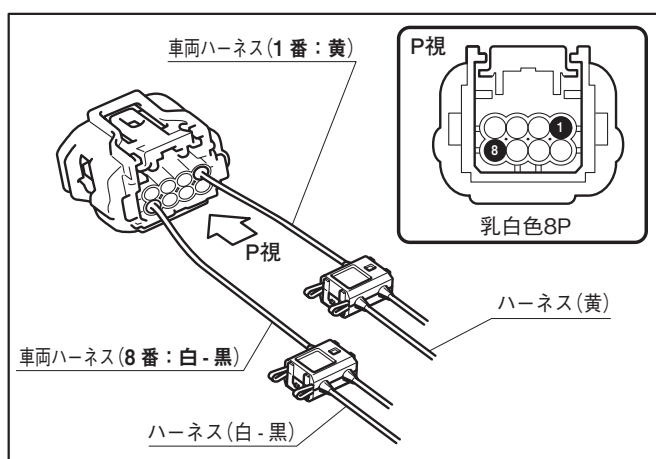


TIH-C10

P9-2

乳白色 8P オプションコネクタの配線

- (1) ハーネスの分岐コネクタを、車両ハーネスの乳白色 8P オプションコネクタまで配線する。



TIH-C11

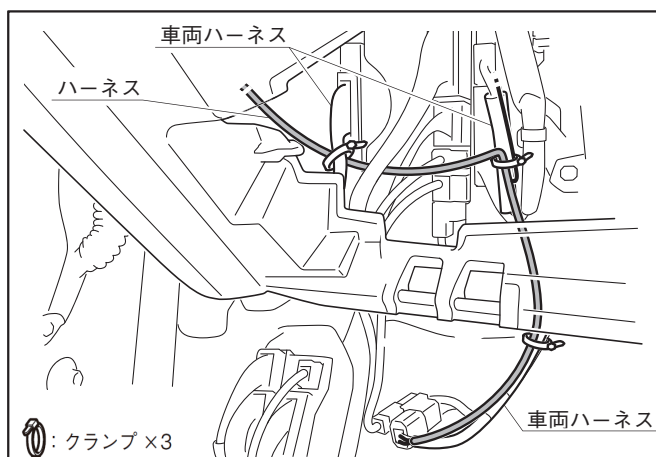
P9-3

- (1) ハーネスの分岐コネクタ (黄コード) を乳白色 8P コネクタの 1 番コード (黄) に接続する。
- (2) ハーネスの分岐コネクタ (白-黒コード) を乳白色 8P コネクタの 8 番コード (白-黒) に接続する。

P9-4

ハーネスの固定

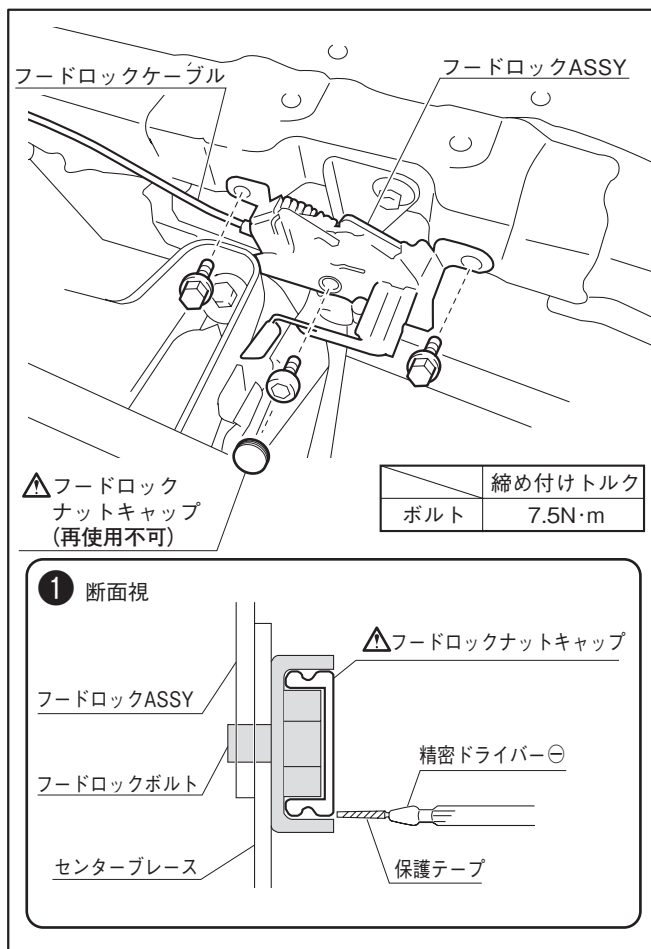
- (1) ハーネスを車両ハーネスに固定する。



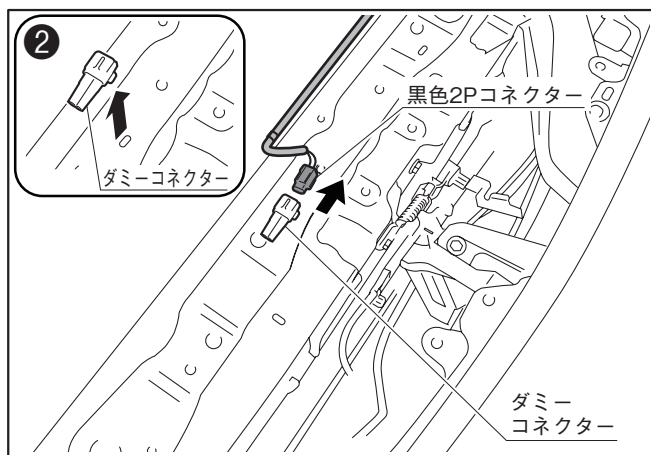
TIH-C12

エンジンルームの配線

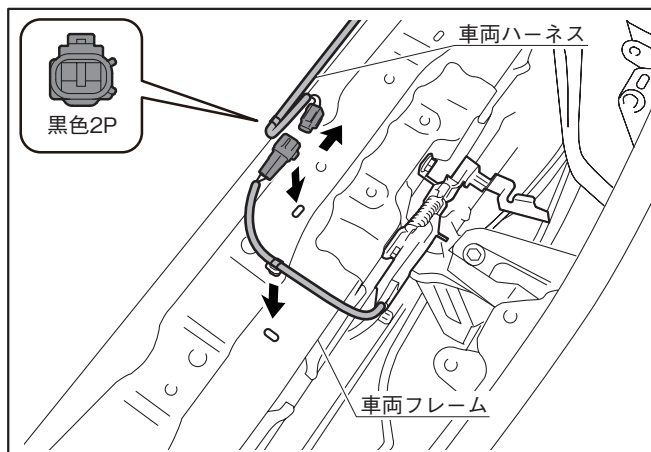
AT車はエンジンルームの配線は不要です。



TIH-C13



TIH-C14



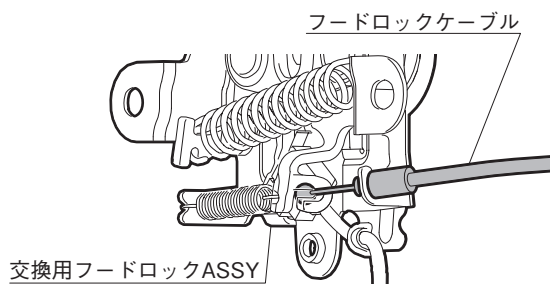
TIH-C15

P10-1 フードロック ASSY の交換

- ①に従い、保護テープを巻いた精密ドライバー⊖を使用して、フードロックナットキャップ (再使用不可) を取りはずす。
- 車両フードロック ASSY のボルト (3 本) をはずす。
- フードロックケーブルをはずし、車両フードロック ASSY を取りはずす。
- フードロックケーブルを交換用フードロック ASSY に取り付け、締め付けトルク表に従いボルト (3 本) で固定する。

アドバイス

フードロックケーブルを取り付けていない状態でフードを閉めると、ボンネットが開けられなくなる為、フードロックケーブルは確実に取り付けてください。



- 付属のフードロックナットキャップを取り付ける。

注意

フードロックナットキャップは、必ず付属品を使用してください。

P10-2

- 黒色 2P コネクタを取りはずす。
- ②に従い、ダミーコネクタを取りはずす。

P10-3

- 車両フードロック ASSY の黒色 2P コネクタを車両ハーネスに接続する。
- 交換用フードロック ASSY の黒色 2P コネクタの打ち込みクランプ (2 箇所) を車両フレームに嵌合する。

作動確認

アドバイス

作動確認の前に、配線や取り付けに異常がないことを確認してください。

セキュリティ機能の切り替え

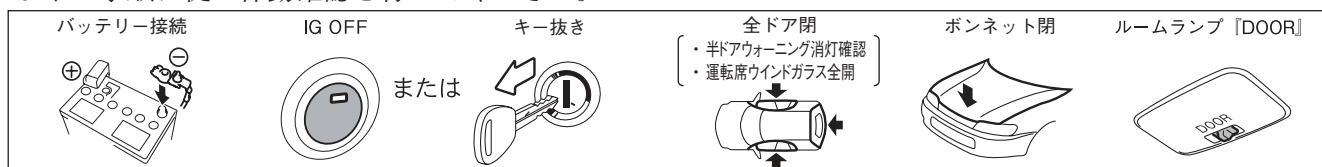


セキュリティ機能の切り替えが未実施の場合、オートアラームが作動しません

- ① バッテリーの（－）側ケーブルを取り付けてください。
- ② C&A事業部発行『トヨタ純正（用品）オートアラームサービス資料』に従い、作業してください。

作動確認

以下の手順に従い作動確認を行ってください。



No.	作動確認項目	異常時の点検箇所
1	車両標準ワイヤレスドアロックでロックし、30秒以上経過後、ボンネットを開けてください。 車両ホーン及びセルフパワーサイレンで警報しますか？ （アンロックまたはエンジン始動で警報停止）	P7-2 P9-1 P9-3 P10-3

復元作業

「作動確認」完了後、下記の点に注意し、取りはずした車両部品を復元してください。

△ 注意

- ① 車両及び用品ハーネスが噛み込んでいないこと
- ② ネジ類の締め忘れ、クリップ等の半嵌合がないこと
- ③ コネクター類の嵌め忘れ、または半嵌合のないこと
- ④ 車両部品にキズを付けないこと
- ⑤ ドアロック・パワーウインド・ハザード等、電気系統に異常のないこと

バッテリー復元時の注意事項

バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。
車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。
※車両システムの初期化には、GTS+等のツールが必要な場合があります。

配線図

